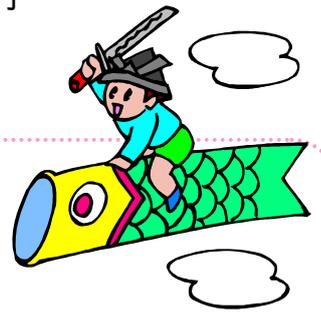


ぽすっと

2014年5月号 NO.209

5月1日発行



今月のトピックス

平成26年度 第2回図書館歴史講座

2年前に、1750年ごろの津島の古地図を見ながら歩く「歩き学び講座」を開催したところ、多くの方が参加していただき大変好評のうちに終わりました。

今回は、2年前に立ち寄りなかった場所も含めて町歩きをします。

日 時 5月18日(日) 午前10時出発～正午まで(予定・小雨決行)

催行の有無は当日午前8時30分～9時30分に図書館にお問い合わせください。

集合場所 名鉄 津島駅西 三菱東京UFJ銀行前

(受付開始: 9時50分より・事前申込不要・無料)

解散場所 天王川お旅所付近(正午頃 現地解散)

講師 津島ガイドボランティア

10年・20年・30年前の新聞展と「新愛知」(常時展示中)

朝日・中日・読売・毎日の4紙から津島・海部地域の記事を随時掲示しています。

10年、20年、30年前の中から思い出の記事を探してみましょう。

また、中日新聞の前身となる「新愛知」に加え、さらに「地方新聞集成 海部・津島」、「東海魁新聞」も展示中です。昔の新聞から歴史に触れてみましょう。



5月5日は「こどもの日」

5日はこどもの日。勇ましい武者姿の人形を飾る家も多いと思います。

そこで今月は日本各地の有名な武将の本を特集してみました。

あなたは何人知っていますか？

『県別戦国武将事典 これ一冊でよくわかる!』

楠木誠一郎/著 PHP研究所

『真田三代』上・下巻(真田幸隆・昌幸・幸村)

火坂雅志/著 NHK出版

『青銭大名』(織田信秀)

東郷隆/著 朝日新聞出版

『海部、津島のむかしばなし』その三(源義経)

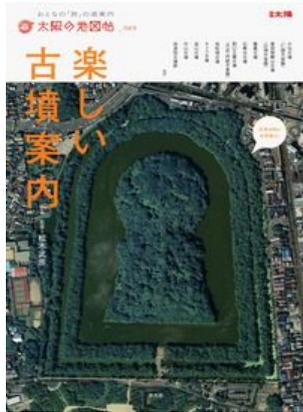
天王文化塾/編 津島法人会



新 着 図 書

『楽しい古墳案内』

松木武彦 / 監修 平凡社 210.3 夕



日本各地に点在する古墳。それは各地方の有力者の墓であった可能性が高く、規模や形も様々です。有名な所では壁画で有名な高松塚古墳やキトラ古墳、地元愛知県では、東之宮古墳、白鳥古墳、八幡山古墳といった古墳が存在します。誰の墓なのか、いつ作られたのか、なんでこんな形にしたのか、私たちの住む街にも存在するこの遺跡は、たくさんの謎を残して現在に至ります。

この本はタイトル通り「楽しい」を追求して全国に存在する古墳を写真と解説を交えて紹介した本です。さらに、山口晃氏ほか著名人がその古代ロマンの魅力について語ります。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『おもかげ復元師』 笹原留似子 / 著 東日本大震災後、遺体を生前の頃の様に復元するボランティア。
- 『同行二人』 中村うさぎ・マツコデラックス / 著 2人の個性が激しくぶつかるシリーズ待望の続編。
- 『おばさん四十八歳小説家になりました』 植松三十里 / 著 48歳でデビューを果たした小説家の話。
- 『紫の結び』 3 紫式部 / 著・荻原規子 / 訳 再構成された新たな視点の源氏物語最終巻。文章も明解に。
- 『それからの納棺夫日記』 青木新門 / 著 映画「おくりびと」の原作者が現在まで近況や体験談を書く。
- 『シュレーダーの階段』 小島達矢 / 著 「脱出」と「侵入」。少女と少年が織りなす2人のサスペンス。
- 『三匹のおっさん』 有川浩 / 著 現在も人気が高く、テレビドラマ放映後にさらに注目を集めている本。
- 『宝の山』 梶よう子 / 著 江戸時代、物価の動向を見張る同心・澤本神人が遭遇する事件の謎に挑む。
- 『爛』 瀬戸内寂聴 / 著 瀬戸内寂聴の長編作。人形作家・上原眸に友人の訃報が届いたことから始まる。
- 『舟を編む』 三浦しをん / 著 出版から約2年。映画版が日本アカデミー賞を受賞して人気が再燃。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。検索メニューが豊富になり、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。
<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/>

休館日

27日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話(0567)25-2145

